



SCRITという新技術で不安定核電子散乱ができるか  
New technique SCRIT - for RI-electron scattering experiment

若杉 昌徳 氏 (理研仁科センター)  
Dr. Masanori Wakasugi (RIKEN Nishina center)

我々は不安定核の電子散乱実験を実現するための新しいターゲットシステムSCRIT (Self-Confining RI Ion Target) を提案した。SCRIT法の有効性を実証するために京大化研KSRにプロトタイプを挿入しR&D研究を行ってきた。3年半かけて装置を熟成させ、今年4月の実験で、SCRITに蓄積したCsイオンからの弾性散乱電子の観測に初めて成功した。蓄積イオン数は約 $5 \times 10^6$ 個、衝突ルミノシティはおよそ  $1 \times 10^{25}$  /cm<sup>2</sup>/sに到達した。SCRITは、わずか100万個あまりのイオン数があればターゲットとして機能することが証明され、その有用性が実証された。今回のセミナーではこの4月の実験結果を中心に議論する。

May 22 (Tue), 2007 13:30-  
RIBF Conf. Hall, RIKEN

*The seminar will be given in Japanese.*  
*Contact: RIBF Nuclear Physics Seminar Organizer*  
*[seminar@ribf.riken.jp](mailto:seminar@ribf.riken.jp)*  
*<http://ribf.riken.jp/~seminar>*